

SYMBA NETWORK



We think the future of logistics.



2021年1月21日
株式会社あんしん
日本 GLP 株式会社

報道各位

**沖縄県下大手物流会社「あんしん」と大手物流施設開発会社「日本 GLP」、
「GLP 沖縄浦添」を協働で開発
「あんしん沖縄ロジスティックゲートウェイ構想（仮称）」が始動
日本 GLP、沖縄県に初進出**

シンバホールディングス株式会社（本社所在地：沖縄県浦添市、代表取締役社長：安里 享英）傘下で沖縄県下最大規模の物流会社である株式会社あんしん（本社所在地：沖縄県浦添市、代表取締役社長：照屋勝士（以下「あんしん」））および、物流不動産およびその関連テクノロジーに特化した事業会社である日本 GLP 株式会社（本社所在地：東京都港区、代表取締役社長：帖佐 義之（以下「日本 GLP」））は、沖縄県浦添市で延床面積約 62,000 m²の先進的物流施設「GLP 沖縄浦添」の協働での開発を決定しましたのでお知らせします。2021 年 10 月着工、2023 年 2 月竣工予定であり、あんしんが一棟全体を利用します。これにより、あんしんでは「あんしん沖縄ロジスティックゲートウェイ構想（仮称）」が始動します。また、日本 GLP による沖縄県での開発は本物件が初となります。

沖縄県では、県外からの全国型チェーン企業の進出増加などにより、新たな物流施設に対するニーズが高まっています。沖縄県の主要玄関口的那覇市に隣接する浦添市は、浦添北道路・臨港道路浦添線の開通により物流施設に適したエリアとして注目されています。「GLP 沖縄浦添」は沖縄県内の希少な先進的物流施設であり、臨港道路浦添線に面しています。また、重要港湾的那覇港から約 8km、那覇空港からは約 11.5km とアクセスに優れ、県内の広域搬送拠点に適しています。

あんしんは、浦添市牧港に取得した用地において、新たな物流センターを整備する「あんしん沖縄ロジスティックゲートウェイ構想（仮称）」を推進してまいりました。この度、物流施設の開発・運営において幅広い知見と専門性を有する日本 GLP と協働での開発を決定し「流通業務の総合化及び効率化の促進に関する法律（物流総合効率化法）」に基づく総合効率化計画の認定を受けました。県内に分散する物流拠点の集約化を念頭に、CO₂ の排出削減、交通渋滞の緩和に資する基幹拠点として「GLP 沖縄浦添」を活用する予定です。沖縄に進出するあらゆる業種業態の顧客の物流を支えるとともに、県民、観光客をはじめとする全ての物流ニーズに対しても高品質な物流サービスの提供を可能とします。「あんしん沖縄ロジスティックゲートウェイ構想（仮称）」では、IoT、ビッグデータ、AI の活用によるスマート物流の実現を目指すとともに、生産性の向上や日々物流業務に携わる従業員の快適な働く環境を整備します。沖縄県が推進する国際物流事業のさらなる発展にも貢献できる戦略拠点になるものと考えています。

「GLP 沖縄浦添」は物流施設として県内最大級の規模であり、施設の特徴としては 3 階へのスロープを設け、2 フロア（1-2 階、3-4 階）での効率的なオペレーションを可能にしています。加えて、バースの設置階である 1・3 階はブレースのない構造とすることで、搬入出業務の効率性を高めています。また、重量物や大型パレットに対応する床荷重設定や、垂直搬送機ならびに貨物専用エレベーターの設置により、あんしんが取り扱う幅広いお客様の荷物に対応します。BCP 面では、万一の高潮などへの対策として、電気室を上層階に設置するほか、非常用発電を備えています。



「GLP 沖縄浦添」 外観完成イメージ

あんしん代表取締役社長の照屋 勝士は、「コロナ禍において物流へのニーズはかつてないほどの高まりをみせており、社会にとって大切なインフラの一つであることを改めて痛感しています。従来型の物流施設に限界を感じていたところ、日本 GLP 様にご協力頂き、先進的物流施設を開発するはこびとなりました。社員の働きやすさ、健康経営、SDGs への取り組みの推進はもとより、お客様への更なるお役立ちを具現化することで、高品質な物流サービスの提供という社会的使命を全うする覚悟です」と述べています。

日本 GLP 代表取締役社長の帖佐 義之は、「『GLP 沖縄浦添』は GLP として初となる沖縄における開発物件です。県内で先進的物流施設への需要の増加がみられる中、この度、県下の物流最大手あんしん様に弊社施設のご利用をご決定頂き、大変嬉しく思います。あんしん様のニーズに合わせた最適なフロアオペレーションを可能にする施設を提供し、沖縄県の物流発展に寄与できるよう開発を推進してまいります。」と述べています。

■施設概要

施設名	名：「GLP 沖縄浦添」
所在地	地：沖縄県浦添市牧港 5
敷地面積	積：約 29,000 m ²
延床面積	積：約 62,000 m ²
構造	造：地上 4 階/耐震・鉄骨造
着工	工：2021 年 10 月
竣工	工：2023 年 2 月（予定）
認証取得	得：CASBEE（新築）認証（予定）

以上

株式会社あんしんについて (<http://anshin.symba.jp/>)

株式会社あんしんは、1965 年個人での運送業として創業、1981 年に法人設立した企業です。県内外の取引先様への「お役立ち」と「物流機能提供」という観点から、変化していく時代に対応し県内 13 の物流センターを有して配送業務を行う物流業から現在は、東京・大阪・福岡の営業拠点を設立し、取引先さまへの本土⇄沖縄間のサプライチェーン・マネジメントを物流で支える総合物流業へと進化し続けています。2000 年には共同配送のビジネスモデルが評価され沖縄県より

「ビジネスオンリーワン賞」を受賞し、2015年には沖縄と世界有数のハブ港が立地する台湾との物流連携をイメージした「沖縄・台湾ダブルハブ構想」を打ち出し、輸入貨物増大による物流コストの低減や輸出貨物の増大に向けた各種取り組みも推進しています。

日本 GLP 株式会社について (<https://www.glp.com/jp>)

日本 GLP 株式会社は、2009年3月に設立された GLP の日本法人です。日本の主要な物流拠点を網羅する都市で、123棟・総延床面積約850万㎡の物流施設を運営しており、都市の生活や経済活動を支える重要なインフラとしての、高機能かつ環境にも配慮した物流施設を提供しています。GLPでは、事業展開している地域社会およびその環境に配慮し、持続可能な社会の形成に貢献すべく包括的な ESG ポリシーを策定しています。

GLP Pte Ltd.について (<https://www.glp.com/global/>)

GLP Pte. Ltd. (GLP) は物流、不動産、インフラストラクチャー、金融をはじめとするセクターおよびその関連テクノロジーを対象とする世界的な投資会社です。投資および施設運営の専門知識を有し、顧客そして投資家の皆様に新たな価値を提供しています。日本、ブラジル、中国、ヨーロッパ、インド、米国において事業を展開しており、不動産およびプライベートエクイティファンドにおいて970億米ドル(2020年9月末現在)の資産を運用しています。2020年には、Private Equity Real Estate (以下「PERE」) が主催する「2019年 PERE Awards」の「Firm of the Year」(グローバル) および「Industry Figure of the Year」(グローバル)、また「Firm of the Year」(日本)をはじめ、グループでは合計8部門で受賞をしています。

【本リリースに関する問い合わせ先】

株式会社あんしん広報担当：友知 電話：098-871-3100

日本 GLP 広報担当 (IFC)：竹江 電話：03-5532-8921